

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習 II		
担当者(Instructors)	日栄 一真	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

"映像、音、光などのメディア情報を活用した表現技法を学び、それを基にどのようなサービスやプロダクトを創出できるかを研究します。☑ さらに、ビジュアルプログラミング言語を用いて、簡単なプログラムを自ら作成するための技術も習得します。この授業の受講を検討する学生は、専門演習Iの技術と知識が必要になりますので、専門演習Iを前期に受講してください。また、社会連携の一環として、学外イベントの運営に携わる場合があり、授業時間外や土日などに活動が発生することがあります。授業の受講には、スマートフォンと、PC(Win or Mac)が必要になりますので、必ず持参してください。ゲスト講師によるレクチャーが入る場合があります。"

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	制作演習のほか、他のイベントと連携した課外授業を行う場合があります。シラバスの内容は状況に合わせて順番が入れ替わる場合や、内容が変わる可能性があります。社会連携の一環として、学外イベントの運営に携わる場合があり、授業時間外や土日などに活動が発生することがあり、交通費が自己負担になる場合があります。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	イントロダクション	授業の進め方、評価方法、レポートの提出方法など	<input type="checkbox"/>
第2回	インタラクション	インタラクションの仕組み	<input type="checkbox"/>
第3回	キーボードによる操作	ビジュアルプログラミング言語のインストールと設定	<input type="checkbox"/>
第4回	音の解析	音の基本的な性質を理解し、音の要素(振幅、周波数、波長など)について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第5回	音の解析	FFTなど、音を解析するための基本的な技術を理解する	<input type="checkbox"/>
第6回	画像解析	画像データの基本構造(ピクセル、RGB値など)について	<input type="checkbox"/>
第7回	画像解析	画像や映像から目的の情報を取得する方法について	<input type="checkbox"/>
第8回	音から映像を操作	入力された音の情報から映像を操作する	<input type="checkbox"/>
第9回	映像から音を操作	入力された画像情報から音を操作する	<input type="checkbox"/>
第10回	制作・研究1	制作・研究のほか、イベントなどが入る場合があります。	<input type="checkbox"/>
第11回	制作・研究2	同上	<input type="checkbox"/>
第12回	制作・研究3	同上	<input type="checkbox"/>
第13回	制作・研究4	同上	<input type="checkbox"/>
第14回	制作・研究5	同上	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	半期のまとめ	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

"各自授業前に書籍、インターネットなどを用いて予習をし(2時間程度)、授業後に授業で配布した資料を用いて各自講義レポートをまとめる(2時間程度)。特に、制作課題は、授業以外の時間で制作する必要があります。"

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題は授業時間内に発表する時間を設け、その場でフィードバックを行います。また、毎授業後に簡単なレポートを課します、これに対し必要に応じて授業時間内に回答します。

## ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	自らの考えを論理的且つ客観的に言語化し、伝える企画を作成する能力を育む。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%
<b>授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)</b> 授業内試験は、課題制作を課しこれにより評価を行います。 その他の加点は毎授業後に所要時間5分ほどのレポートを実施しこれを平常点とし評価します。このレポートを提出しない場合、平常点の加点がなくなるので注意してください				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		